

出題の意図

(選択言語、専門科目、指定言語)

(専攻・分野 哲学・倫理学専攻 哲学分野)

(科目 哲学)

博士レベルに求められる学術的な論述力を問う問題である。哲学・倫理学専攻哲学分野における専門的な問いに対して、適切かつ説得力のある論述を展開できるかが問われている。専門的な思考を、豊かな着想力を持って展開し、論理性と一貫性を備えた文章で表現できることが求められている。

出題の意図

(選択言語、専門科目、指定言語)

(専攻・分野 哲学・倫理学専攻 倫理学分野)

(科目 倫理学)

設問. 論述問題

博士レベルに求められる学術的な論述力を問う問題である。倫理学分野における根本的な問いに対して、明確な問題意識と倫理学の理論・歴史を踏まえ、適切かつ説得力のある論述を展開できるかが問われている。学問的な思考を、豊かな着想力と専門的な学識をもって展開し、論理性と一貫性を備えた文章で表現できることが求められている。

出題の意図

(選択言語、**専門科目**、指定言語)

(専攻・分野 美学美術史学)

(科目 美学美術史学)

問1 論述問題

博士課程の院生に求められる、学術的な問題意識と論述力とを問う問題である。

美学美術史学分野における、必要不可欠かつ重要なあるテーマに対して、その意義や核となる概念、また研究史等の学術研究上の前提を、より高度なレベルで十分に理解しているか、さらにはそれを踏まえつつ、自らの視座を設定し、研究者として相応しい的確で説得力のある論述を展開する能力があるかを、判断する。

問2

博士課程の院生の水準に照らしつつ、これまでの研究成果の深度を図る問題である。

個別の作家や作品、著作についての基礎知識の確認とともに、その理解度と、他者への説明の的確さとを探ることを主な目的としている。なお美学美術史学分野では、美学や芸術学、美術史学・音楽史学などを含む領域の広さが特徴であるため、これまでの各自の専門分野において対応が可能な、過不足のない論述能力を判断する。

出題の意図

(選択言語、専門科目、指定言語)

(専攻・分野 日本史学分野)

(科目 日本史学)

日本史学分野における博士レベルに求められる学術的な論述力を問う問題である。日本史に関する基本的な問いに対して、適切かつ説得力のある論述を通時代的に展開できるかが問われている。学術的な思考を、豊かな着想力を持って展開し、論理性と一貫性を備えた文章で表現できることが求められている。

出題の意図

(選択言語、専門科目、指定言語)

(専攻・分野 東洋史学)

(科目 東洋史学)

東洋史学分野の博士課程における研究に必要な専門知識、および学術的な思考力を問う問題である。

本分野に関わる幅広い問いに対して、具体的な歴史事実をふまえながら、論理的かつ専門的に論述できるかが問われている。

高度な知識、緻密な論理、ユニークな発想、理解しやすい文章表現で、東洋史学に関わる諸問題を論述することが求められている。

出題の意図

(選択言語、専門科目、指定言語)

(専攻・分野 西洋史学)

(科目 専門科目)

論述問題

西洋史学専攻分野の博士課程レベルで求められる学術的な論述力を問う問題である。自らの研究テーマについて、博士論文の作成を視野においた、適切かつ説得力のある論述を展開できるかが問われている。学問的な思考を、豊かな着想力を持って展開し、論理性と一貫性を備えた文章で表現できることが求められている。

出題の意図

【博士課程】

(選択言語、専門科目、指定言語)

(専攻・分野 民族学考古学分野)

(科目 専門)

論述問題

博士レベルに求められる学術的な論述力を問う問題である。民族学考古学分野における専門性の高い問いに対して、近年の研究動向を踏まえて適切かつ説得力のある論述を展開できるかが問われている。学問的な思考を、豊かな着想力を持って展開し、論理性と一貫性を備えた文章で表現できることが求められている。

出題の意図

(選択言語、専門科目、指定言語)

(専攻・分野 国文学・国文学)

(科目 専門科目)

設問 1～7. 基礎知識と論述能力を問う問題

いずれも、国文学専攻国文学分野において、博士課程で必要な基礎知識の有無を問う。学術的思考の基礎となる概念や事象を、幅広くかつ正確に理解できているかどうかを問うものである。かつそれぞれの設問が対象とする領域において、博士課程に求められる学術的な論述力を問う。当該分野における基礎的な問いかけに対して、説得力のある展開ができるかが問われる。そしてこうした学問的な思考を、豊かな着想力をもって展開し、論旨の一貫した、的確な文章によって表現できることが求められている。

出題の意図

(専門科目)

(専攻・分野 中国文学専攻)

(科目 専門科目)

設問 論述問題

中国文学、中国語学の分野のいずれかにおいて、博士レベルで求められる学術的な論述力を問う問題である。題目の内容に関わる領域の一般的な知識を持ち合わせ、具体的に関連する事例や実例を挙げ、論理性と一貫性が備わった日本語の文章で表現する能力が求められる。

出題の意図

博士

(専門科目)

(専攻・分野

英米文学専攻

)

(科目

英米文学

)

最近の研究動向を踏まえて自身の博士課程における研究計画を学術英語で具体的かつ論理的に示せるかを測る。

出題の意図

(選択言語、○専門科目、指定言語)

(専攻・分野 独文学専攻)

(科目 独文学)

設問 1. 論述問題

博士課程レベルに求められる学術的な論述力を問う問題である。独文学専攻分野における基本的な問いに対して、適切かつ説得力のある論述を展開できるかが問われている。学問的な思考を、豊かな着想力を持って展開し、論理性と一貫性を備えた文章で表現できることが求められている。

設問 2. 研究構想力を問う問題

博士課程レベルに求められる学術的な構想力を問う問題である。独文学専攻分野における博士課程レベルの研究計画を、適切かつ説得力のある言葉で説明できるかが問われている。学問的な構想を、確実な知識と豊かな着想力を持って展開し、論理性と一貫性を備えた文章で表現できることが求められている。

出題の意図

(選択言語、専門科目、指定言語) 博士課程

(専攻・分野 仏文学)

(科目 仏文学)

設問 [1] . フランス文学・思想について論述

博士レベルで求められる、フランス語による論述力を問う問題である。与えられた主題を的確に理解し、フランス文学・思想についての幅広い知識を活用しながら学術的に論述することが求められている。

設問 [2] . フランス語学・一般言語学についての論述

博士レベルで求められる、フランス語による論述力を問う問題である。与えられた主題を的確に理解し、フランス語学・一般言語学についての幅広い知識を活用しながら学術的に論述することが求められている。

出題の意図

(選択言語、専門科目、指定言語)

(専攻・分野 図書館・情報学専攻)

(科目 図書館・情報学)

図書館・情報学専攻における博士レベルで求められる基礎知識を問う 2 つの論述問題を出題している。1 つは、図書館・情報学の中の特定の領域を選んだうえで、自分の修論と関連付けながら、それについて正確に説明できるかどうかを問う問題である。もう 1 つの設定では、「図書館」「情報メディア」「情報検索」「方法論」の 4 つのトピックの中の 1 つに関して、学術的な思考の基礎となる概念や事象を正確に理解できているかが問われている。